

## 研究課題：多発性骨髄腫の移植後再発時の予後因子に関する解析

---

当科では 2001 年 1 月から 2012 年 11 月末までに当院で多発性骨髄腫に対して、自己末梢血幹細胞移植による治療を施行し、その後に再発が認められた患者さんの予後因子を調査する研究を行っています。

所属：血液内科

職名：医師

氏名：新垣 清登